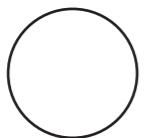


Portfolio

Kanemura Koharu

2020

2024



人々の生活を豊かにする

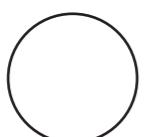
日常の中でふとした幸せを感じてもらえる

そんなデザインを目指しています

美しさと心地よさが両立した

細部にまでこだわったデザインを

心がけています



兼村 小晴 KANEMURA KOHARU

生年月日 2002/02/12

所属 東京都立大学大学院

システムデザイン研究科

インダストリアルアート学域

学歴 東京都立大学

システムデザイン学部

インダストリアルアート学科 卒業

スキル



★★★



★★★



★★★



★★★



★★☆



★★☆

好きなこと 旅行：国内外問わず大好きです！

写真はパリ旅行の時の写真です。

御朱印集め：五年間ほど集め続けています！

散歩：線路沿いを歩くのが好きです。

Summary

01

神社復興における
地域コミュニティの場の形成



02

めぐる図書館



03

Half Shered House



04

TheaBar





01 神社復興における地域コミュニティの場の形成

東京都立大学システムデザイン学部 インダストリアルアート学科 卒業制作

製作期間

2023年4月～2024年2月

Place

武藏野八幡宮（東京都武藏野市吉祥寺）



Back ground

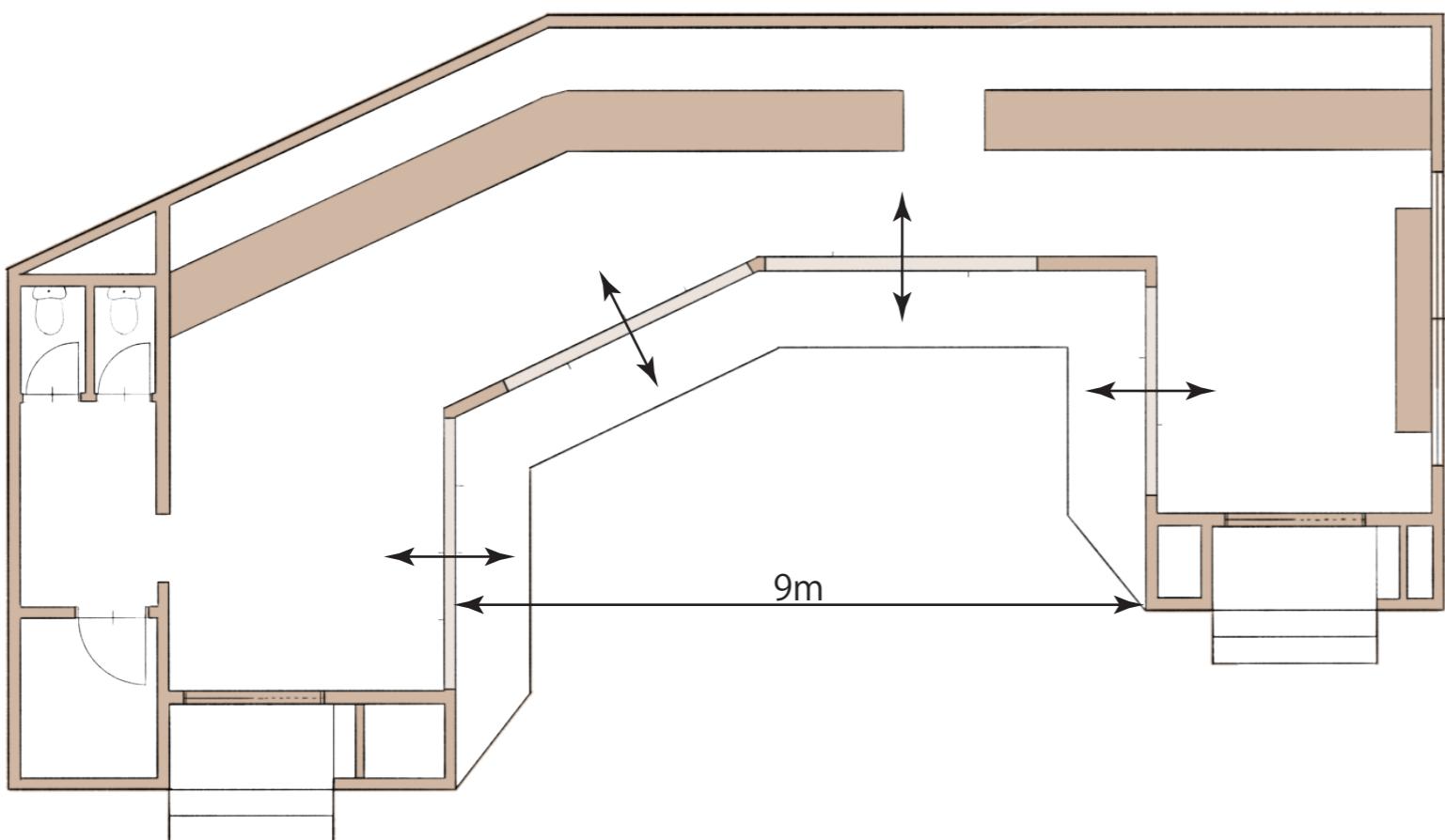
現在、全国の神社で経営難が問題になっている。高齢化や過疎化により氏子の数が減少し収入の大部分を占める寄付や奉納金が減少している。経営難に陥った神社では、神職の副業や掛け持ちによる経営が行われるなど非常に厳しい現状である。この問題に対し、境内でのマンション建設や駐車場としての貸し出しなど、境内の有効活用による対策が取られてきたが、「景観を壊す」「憩いの場がなくなる」などの反対意見も多い。そこで、景観を守りつつビジネスが可能なコミュニティ空間をつくることを提案する。

Concept

本研究では神社とお酒の関係に注目して、境内に「お酒を楽しめるコミュニティ空間」を建設する。神社と密接に関わる「お酒」を交流が生まれるきっかけとして提供し収益を得ることで「コミュニティの場」と「ビジネスの場」を両立させる。本研究では、仕入れたお酒を販売し、その場で飲むことができる空間を作り地域コミュニティが生まれるようなビジネスの場を提案する。



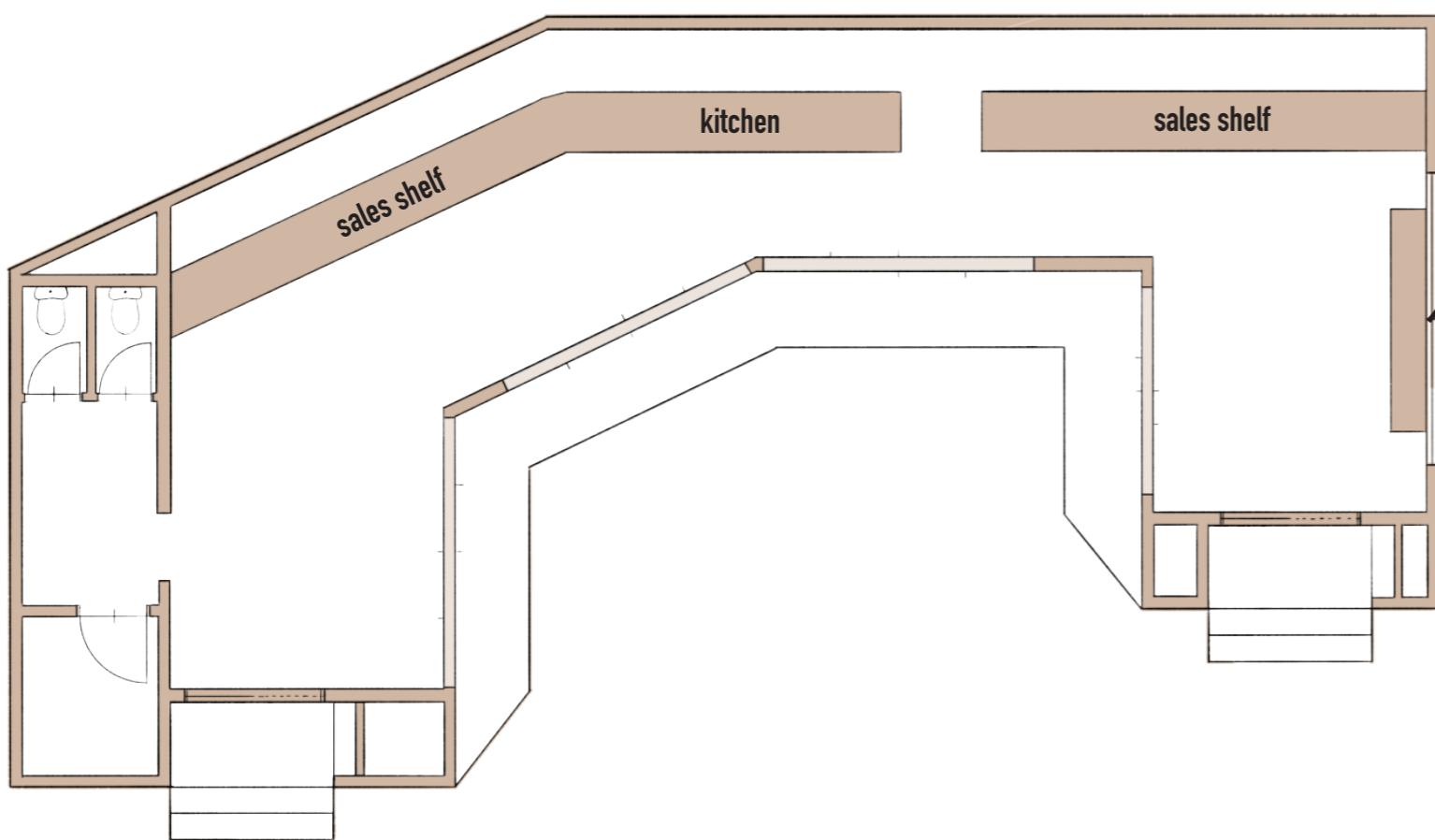
新たな人間関係を形成



Design concept

中庭を囲むように縁側が広がる。縁側は、感神経機能の活動量を増加し縁側設置前よりも生活全般が活性化する可能性があること、また、ガティブ因子が知恵化することおよびポジティブ因子が上昇する可能性がある効果があるとされており、人々のコミュニケーションの場として機能する。

参道のすぐ隣に建てることで、参拝者が参拝終わりに気軽に寄れる。中庭の広さは約 9m とし、開放的なイメージを持たせることで入りづらい雰囲気をなくす。縁側と内部空間は直接行き来が可能なため、フタッフが縁側まで注文をききお酒を提供する。そうすることで、利用者は縁側から動くことなく過ごすことが可能である。

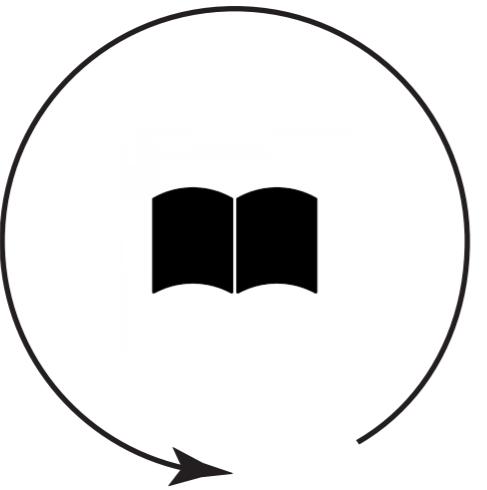


Design concept

内部空間は陳列棚と、キッチン、レジを一列に並べシンプルに。スタッフは一人でも営業が可能なように縁側の様子がどの位置からでも見えるよにして負担を減らす。お酒をかって持ち帰る利用者は、入り口で靴を脱いで中に入る。

縁側の他に、内部にも飲酒スペースを設ける。飲酒スペースの窓を通じて武藏野八幡宮を眺めることができる。

屋根は、三角形を組み合わせ印象的なうねりを表現する。こけら葺きの製法を用いて屋根をつくり、建物全体を木造で仕上げ、境内の雰囲気に溶け込んだ空間となるようする。



02 めぐる図書館

製作期間
2022年9月～2023年2月

課題内容 個人課題

「ちひろ美術館・東京」（東京都練馬区下石神井）の土地に新たな公共施設をつくる。

人の存在を感じられる

地元に溶け込んだ

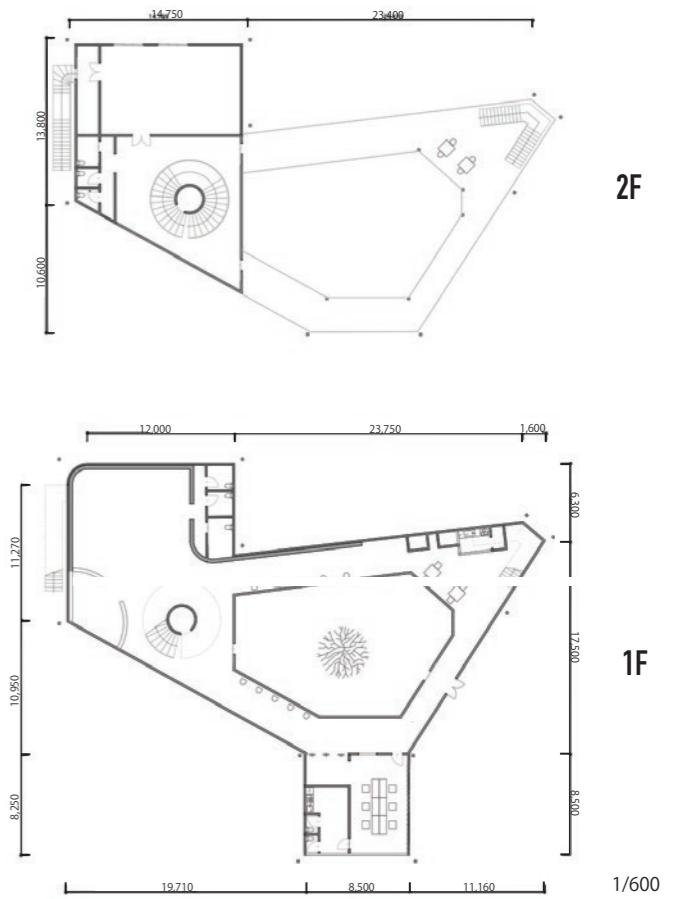
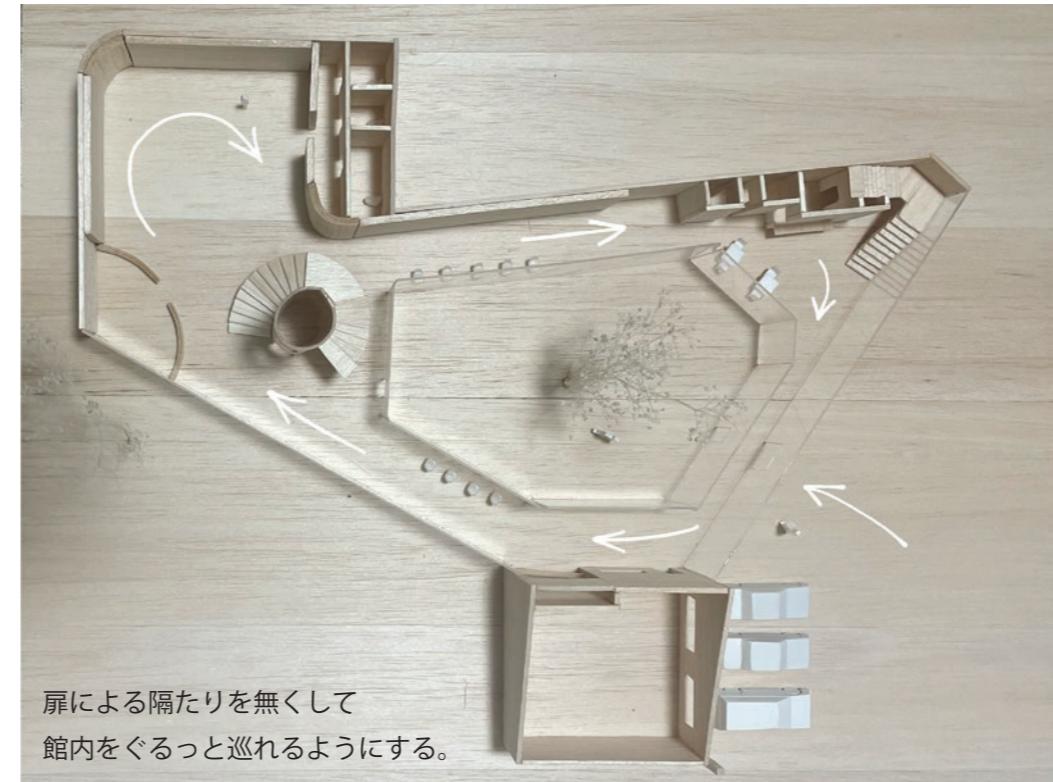
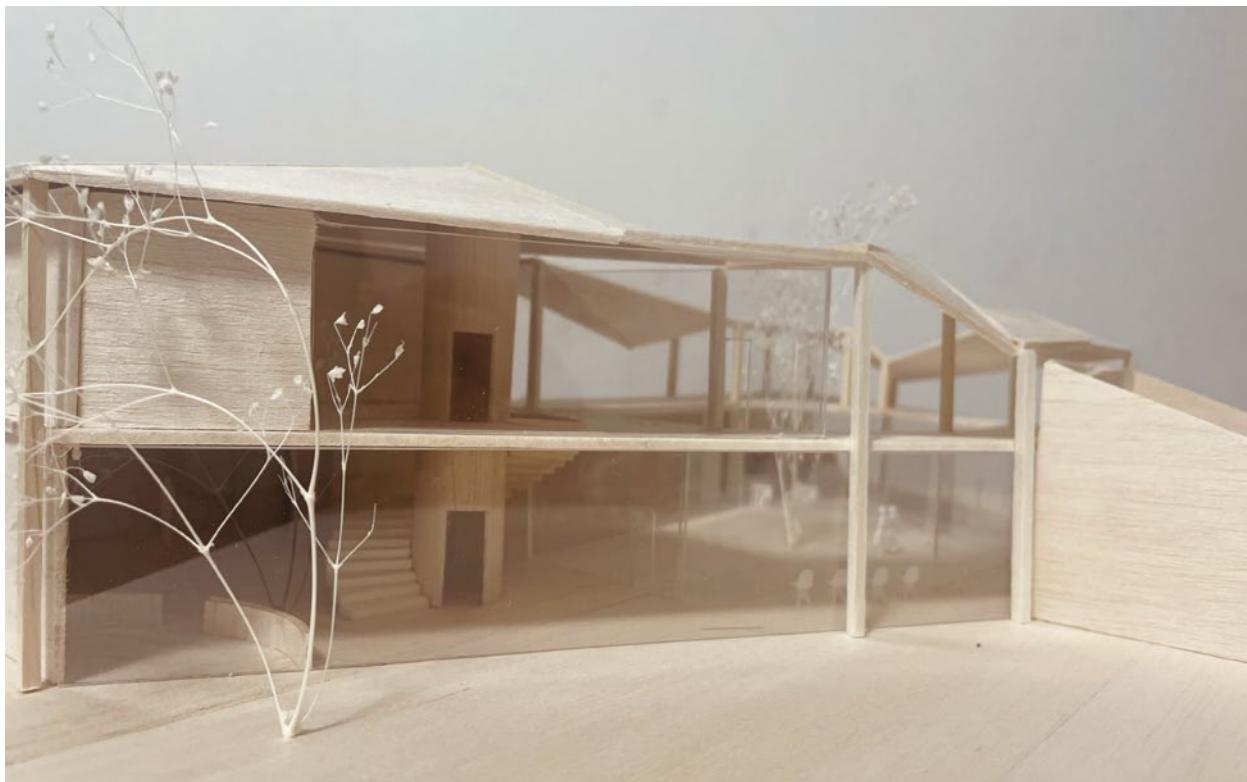
あたたかい図書館



住宅街
×
小学生のこどもを持つ家庭が多い
×
静かで落ち着いた雰囲気

Concept

子供も大人も楽しめる
地元に溶け込んだ
あたたかい図書館カフェ



Courtyard

ガラス張りの窓で囲まれた中庭は図書館の象徴。中庭を通じて建物を移動することができる。開放的な中庭があることで、建物の外からでも、奥の図書館の様子を眺めることができるため雰囲気を感じとれる。

entrance

館内の様子が見えるガラス張りのデザインで、狭い住宅街でも圧迫感を与えず、開放的な印象に。こともや親子が楽しんでいる様子を外から眺めることができるために、入りやすい雰囲気に仕上げた。

library

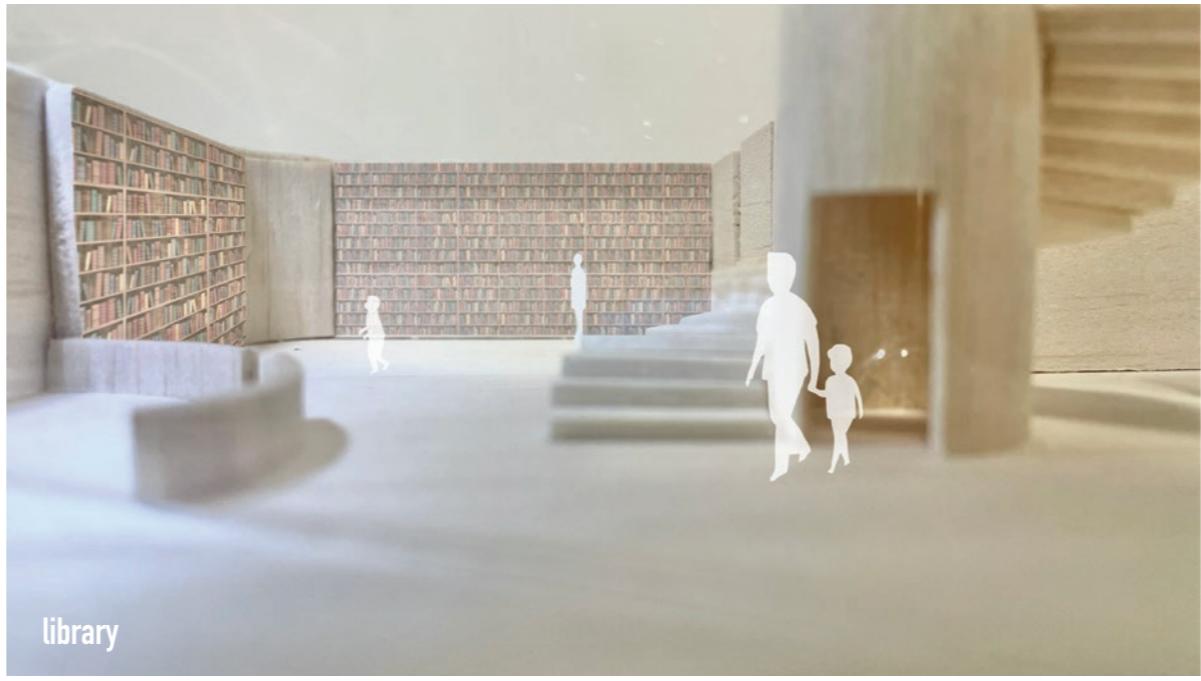
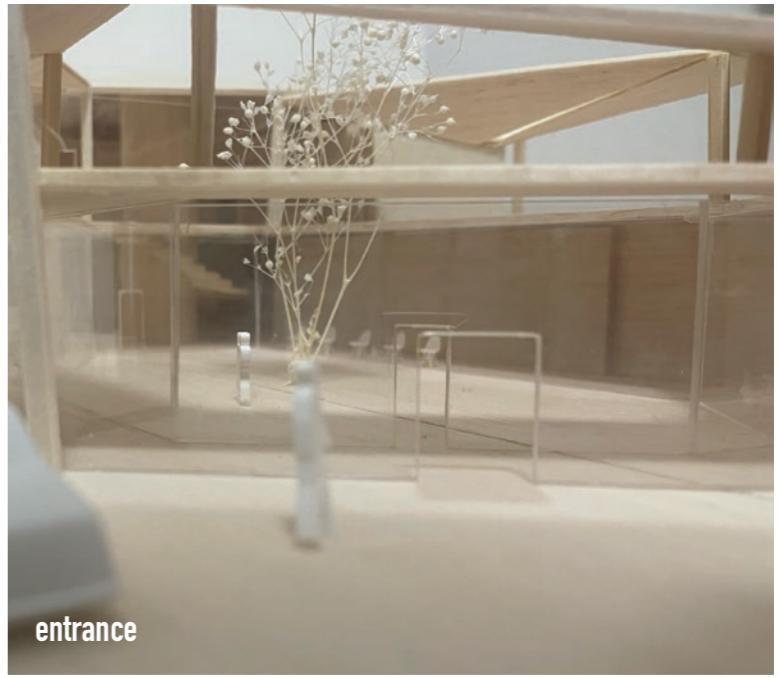
螺旋階段を中心に、壁一面に本棚を並べる。扇型のコーナーは小さい子供が遊べるスペースとして設け、子連れでも安心して来館できるようにした。

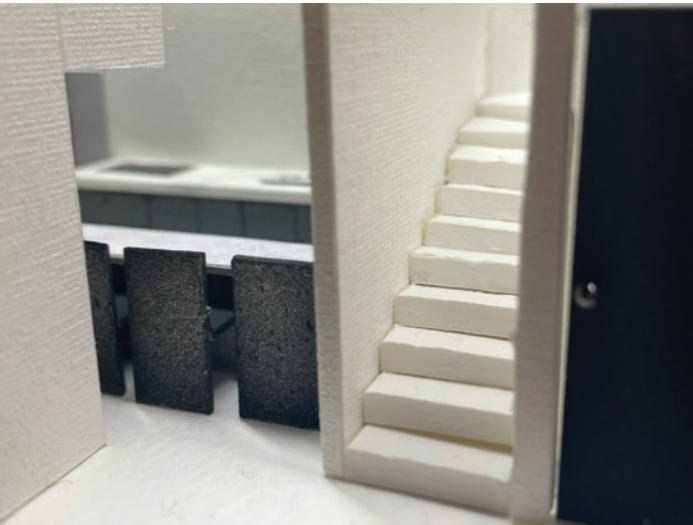
cafe

館内のカフェでゆっくりと休憩。子連れのお母さん同士が少しでも息抜きできるような空間にする。ガラス張りなので、図書館にいるこどもの様子が常に確認できるため安心してカフェを利用してもらえる。

second flor

2階は建物全体を周回できる半外空間。中庭を見下ろすこともできる。カフェのテラス席としても利用可能。





03 Half Shared House

製作期間

2022年4月～2022年7月

課題内容 個人課題

ペルソナを設定して、W3,000×D16,000×H7,200(mm)の空間を自由に使って家を提案する。模型は白黒で指定。

Concept

二組の母子家庭のシェアハウス

仕事と子育てを頑張るシンプルマザーと子どもたちが安心して暮らせる家

玄関を二箇所に設けて、各家族の
パーソナルスペースを介さないで家
族部屋に移動できる。プライバシー
を守りつつ適切な距離感を保てる。

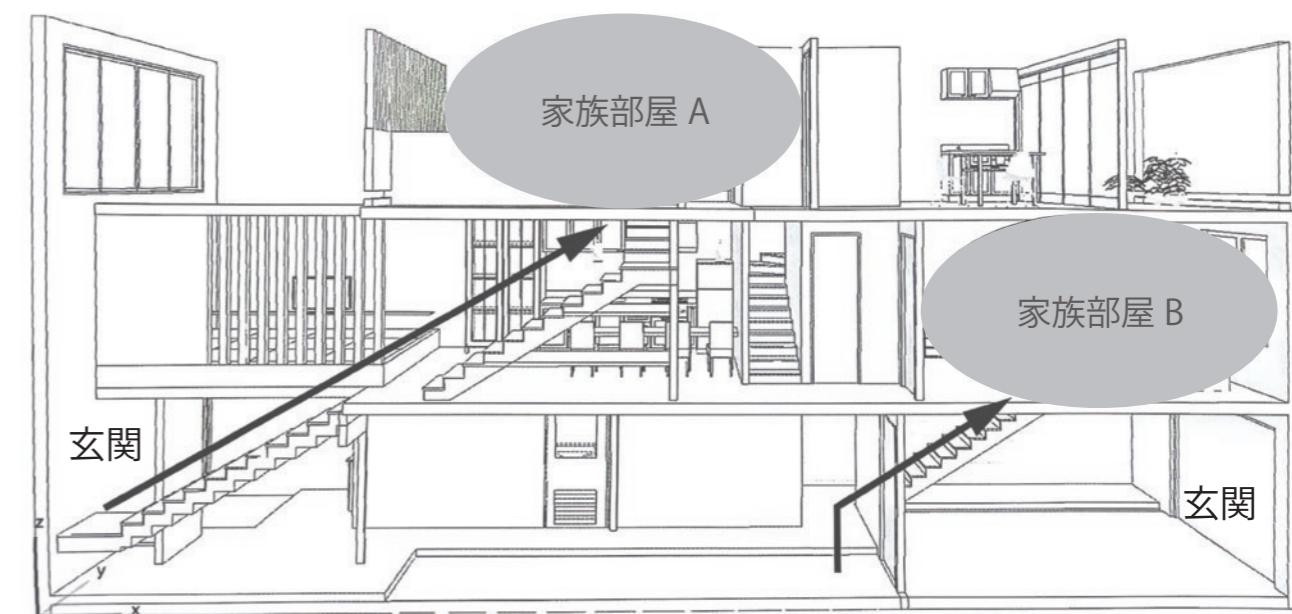
Persona



母 (35)
職業：フリーランス
趣味：ドライブ
息子 (3)



母 (40)
職業：パート
趣味：ガーデニング
娘 (5)





開放的な吹き抜けにより小上がりの畳のリビングは団欒の場となる。共有のキッチンで家族同士の交流をはかり、日々の悩みや出来事を共有しあうことで、子育ての不安を減らす。また、子どもも同士が遊ぶ場所としても機能する。キッチンからすぐ目が届く位置にリビングをつくることで安心して母親が作業にとりかかれる。カウンターキッチンで夜は母親同士が晩酌を楽しめる。



3階にはワーキングスペースとガーデニングが可能な庭がある。静かな環境で仕事をしたい母親のために、ワーキングスペースにはミニキッチンを設置し、リビングに行かずとも長時間の作業が可能になる。吹き抜けを通じてこどもたちの声が届いてくるので、安心して作業ができる。ガーデニングが趣味の母親のために庭をつくり、仕事と趣味の両立がはかれるような環境を提供する。



04 TheaBar

製作期間 2022月9月～2023年2月

オフィス空間に佇む特別な空間

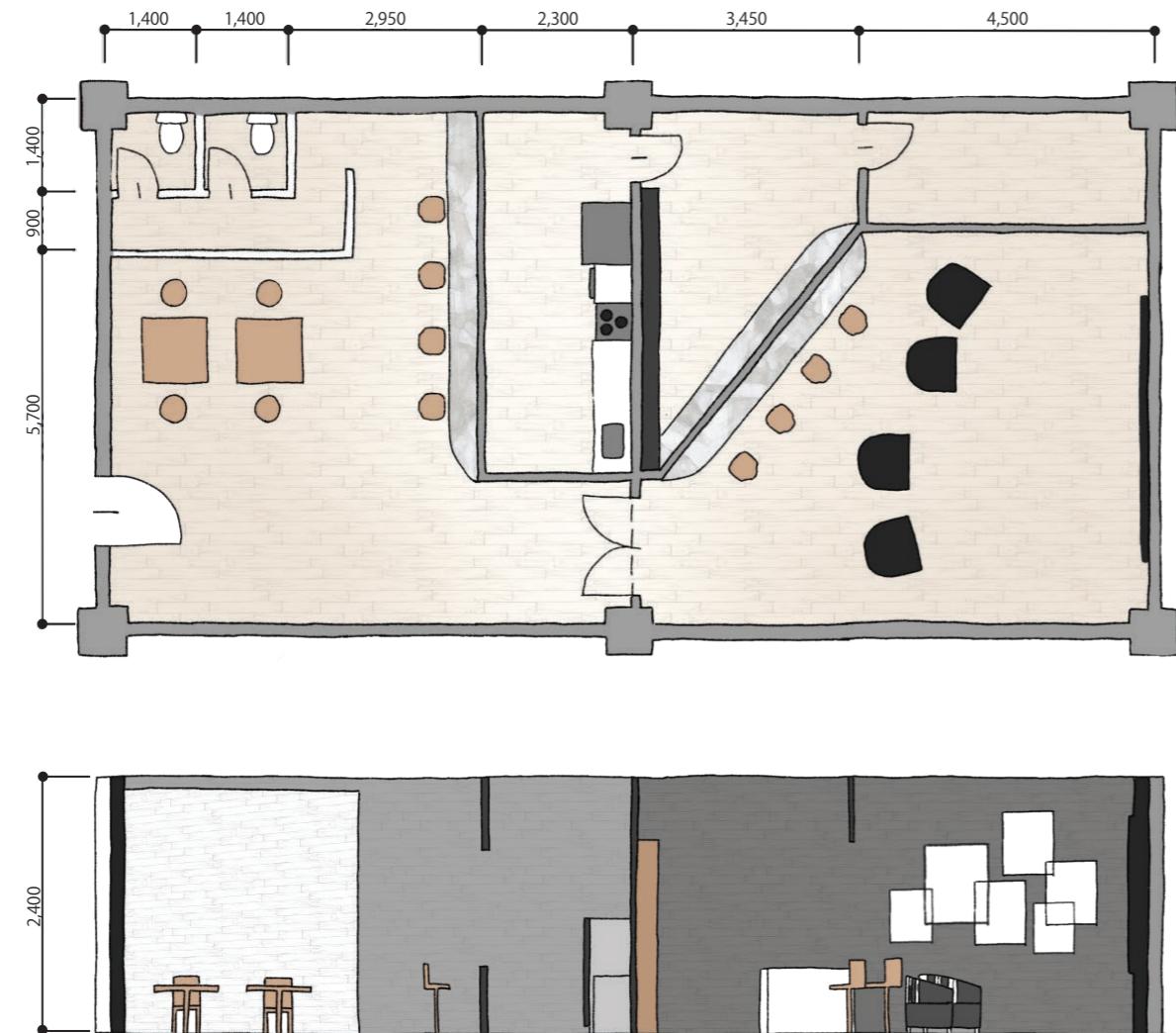
気軽にお酒を楽しみながらリラックスできる空間を

個人営業の映画館とバーの落ち着いた雰囲気を融合

昼はカフェでランチやティータイムを楽しめる

そんな二つの性格を持つ、都会の秘密基地 __





課題内容 個人課題
W8,000×D16,000×H2,400(mm) の空間で
自由に店舗デザインをする。

Place 都会のオフィス街

Persona お酒が好きな会社員
家以外で落ちついて過ごせる場所を探している人



Theater room

映画館はこじんまりとした秘密基地のような空間に。小さなバーとカウンター、そして一人用のソファーを四つ設置。ほろ酔い気分で映画を楽しめるため、夜の素敵なひとときを過ごせる ...



Cafe

カフェ空間は昼間でも入りやすいようにガラス張りで中の様子がよく見えるように。奥のシアタールームへと続く扉の壁には映画のポスターを貼り、引き込まれるような雰囲気を演出する。



窓枠はフィルムを連想させるデザイン。